

平成 24 年 2 月 17 日 総務水道委員会資料
総合政策部 行政経営課

財団法人奈良市駐車場公社経営検討委員会から提出された 報告書について

財団法人奈良市駐車場公社経営検討委員会から奈良市長あてに、平成 23 年 12 月 28 日に報告書が提出されました。

1. 委員会の概要

- 目 的：① 多額の債務を抱える公社の問題点を明らかにする。
② 公社の経営状況等の評価と抜本的な経営改善策を検討する。
③ 公社とならまち駐車場の存廃を含めた検討をする。

構 成：委員長 西 育良（公認会計士）
委 員 松山 治幸（公認会計士）
委 員 山形 康郎（弁護士）

開催概要：設 置 平成 23 年 7 月

開催回数 4 回

2. 報告書の概要

- 主な指摘 ① 事業計画の甘さと過大な投資
・ 公社の収支計画の見積もりの甘さ
・ 約 9 億円を投じた立体駐車場建設計画の妥当性
- ② 遅すぎた市の改善策
・ 建設当初から公社経営は行き詰っていたにもかかわらず、
抜本的な対策（駐車場平面化工事）は平成 19 年度
- ③ 経営視点の欠如
・ 経営の経験のない市職員 OB が公社運営に携わっていた
・ 料金設定やコスト縮減対策も不十分であった
- 結 論 ① 駐車場運営を目的とする公社は存続させる理由がない。
② ならまち駐車場を存続させる際は、経営効率を高めるため、
市直営ではなく、民間事業者に任せるなど、市の財政負担が
最小になる観点からの検討が必要である。
③ 公社の債務処理は 3 セク債の活用を検討すべきである。